

## 記入のポイント

### 【共通】

電話等で支援を行う場合は、以下の事項に留意し支援してください。

その結果を、本報告書の「支援結果・状況」欄に簡略に記録してください。

- ・利用者の健康確認（検温や体調等確認）
- ・自宅で、生活面で問題等が生じていないかどうか。  
（家族や同居者とのトラブル等）
- ・普段接することの少ない利用者の家族等とのやりとりの実施  
（家族に作業所での様子を報告等、家族からは、自宅での様子や生活リズム等を確認）
- ・今般の状況が落ち着いた後、通常の通所による支援がスムーズに再開できるようなサポート（在宅でできる自由課題等を提案）
- ・感染症防止策の徹底や生活リズムの調整などのアドバイス

### 【記入例】

日付	曜日	在宅支援内容			支援結果・状況
		支援方法	開始時刻	終了時刻	※健康状態や相談内容、支援者が気づいたこと等を記入
13	月	電話・来所・訪問・その他	9:25	9:40	検温36.5° 遅くまでゲームをしていたため、午前1時に就寝。今朝は食欲がないと聞き取った。ゲームを終わりにする時間について話し合い、20時以降はゲームをしないこととした。
15	水	電話・来所・訪問・その他	14:00	14:15	検温36.2° 2日に1回の買い物以外は外出していないとのこと。外出時のマスク着用、手洗いなど健康管理を指導。
17	金	電話・来所・訪問・その他	9:20	9:50	ゲームは20時までという約束を守っている。体調良（検温36.3°）。母からも家庭での様子を聞き取る。家族と話をしている最中急に怒り出すなど感情が不安定とのこと。

### 【就労系のみ】

ア～キまでの要件に該当する場合は報酬算定できますので、要件を満たしていることがわかるような記録をしてください。

（ただし、適切な在宅での支援が可能と市村が認める場合は要件の一部を適用しないことも可能です。）

支援内容
ア 知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の必要な支援が行われるとともに、常に在宅利用者が行う作業活動、訓練等のメニューを提供
イ 1日2回以上の連絡、助言または進捗状況等の確認等の支援が行われ日報が作成されていること。また、作業活動、訓練等の内容または在宅利用者の希望等に応じ、1日2回を超えた対応も行う。
ウ 緊急時の連絡体制を構築。利用者への周知を行う。
エ 在宅利用者が作業活動、訓練等を行う上で疑義が生じた際の照会等に対し、随時、訪問や連絡による必要な支援が提供できる体制を確保する。
オ 事業所職員による訪問又は在宅利用者による通所により評価等を一週間につき1回は行う。
カ 在宅利用者においては、原則として月の利用日数のうち1日は事業所に通所し、事業所内において訓練目標に対する達成度の評価を行う。
キ オが通所によって行われ、あわせてカの評価等も行われた場合、カによる通所に置き換えて差し支えない。